

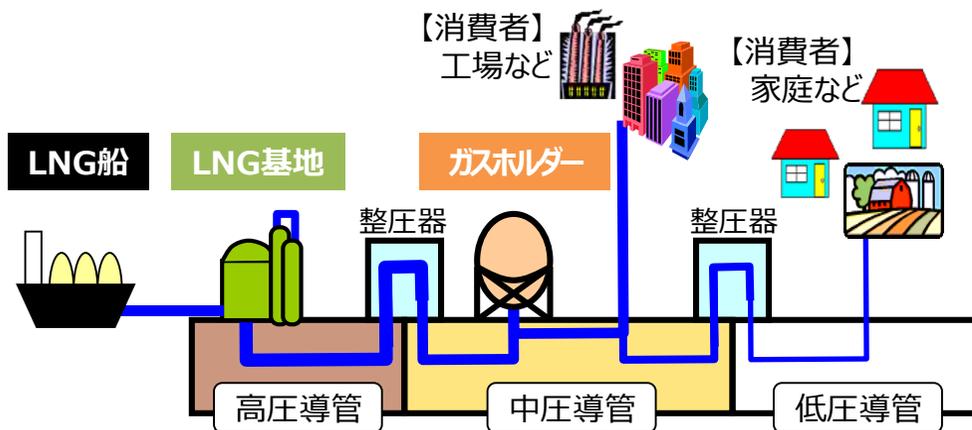
電力小売自由化の状況
ガス小売自由化の状況
競争の概況

(参考) 日本のガス供給の仕組み

- 家庭などへのガスの供給については、①LNG基地から導管でガスを供給する「都市ガス」、②団地などで簡易なガス発生設備から導管でガスを供給する「簡易ガス」がある。
- 加えて、戸建て住宅などに設置したガスボンベなどでガスを供給する「LPガス」がある。

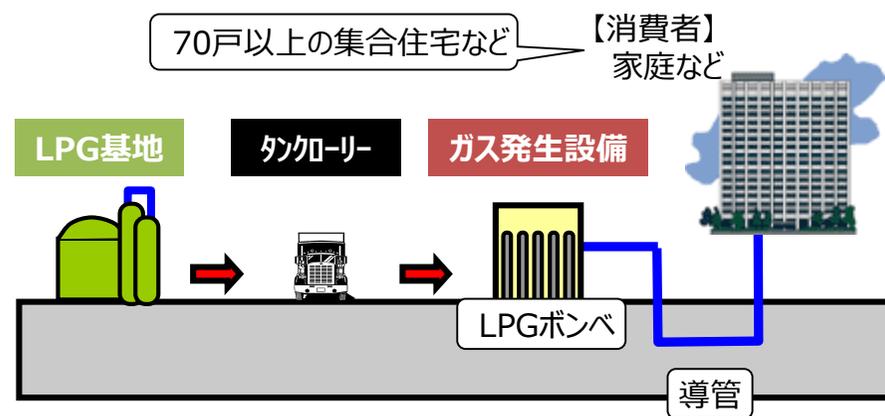
①都市ガスの供給イメージ

本年4月より自由化



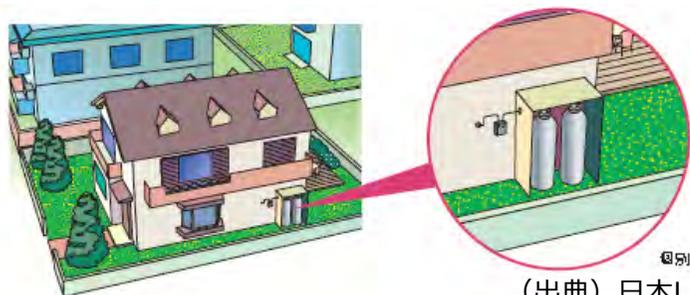
②簡易ガスの供給イメージ

本年4月より自由化



③LPガスの供給イメージ

はじめから自由



個別供給システム

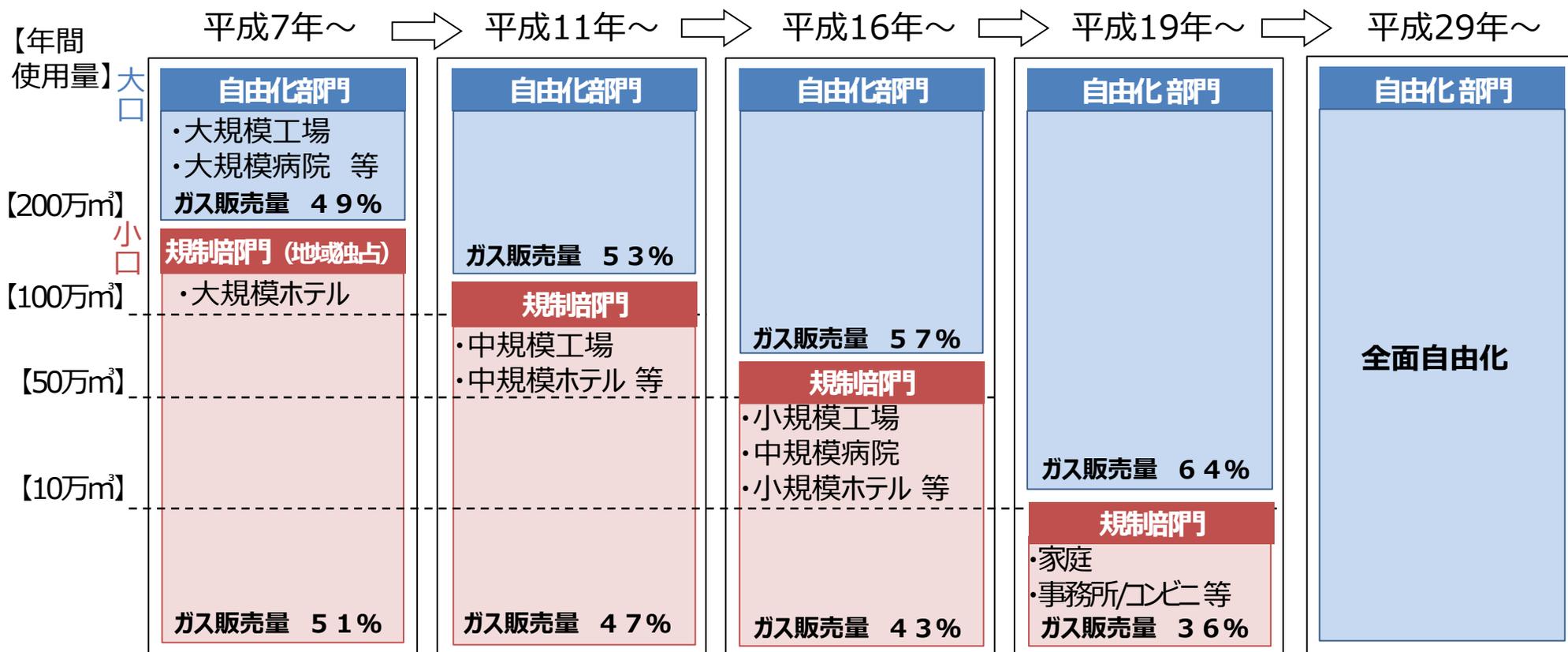
(出典) 日本LPガス団体協議会

■ガスの種別需要家規模 (平成27年度)

	需要家件数	ガス販売量
①都市ガス	約2,635万件	363億m ³ /年
②簡易ガス	約117万件	1.5億m ³ /年
③LPガス	約2,450万件	68億m ³ /年

(参考) ガスの小売自由化の経緯

- 都市ガスの供給については、これまで都市ガス会社が独占的に供給してきたが、平成7年から大口を対象とした部分自由化を開始。
- 本年4月からは家庭を含む全ての都市ガスの利用者が供給元を選べるようになる。



(注1) 小売全面自由化後も、需要家保護の観点から、競争が進展していない地域においては、経過措置として小売料金規制を存続させる。

(注2) 年間使用量の多寡によって大口・小口に分かれる。各シェアは大手10社のガス販売量に占める大口併合販売量の割合（平成26年度実績）。

(参考) 小売全面自由化によって開放される市場

- 小売全面自由化により、都市ガス会社が独占的に供給していた約2.2兆円の市場が開放される（需要家数は約2,600万件）。
- この結果、合計約5兆円のガス市場において、活発な競争によるコスト低廉化と、消費者の利便性の向上が期待される。

自由化部門（大口）

（契約量：10万m³/年以上）



工場



ホテル、商業施設、病院等

規制部門

（契約量：10万m³/年未満）

新たに自由化されるガス市場

市場規模

2.2兆円

契約数 一般家庭部門

2,514万件

商店・事業所等

122万件



商店



住宅

自由化されるガス市場規模・契約数

（平成27年度）

	市場規模 (単位：億円)	契約数 (単位：万個)		
		一般家庭 部門	商店、 事業所等	合計
東京ガス	7,691	938	47	985
大阪ガス	5,293	594	25	618
東邦ガス	1,739	201	6	207
その他	7,318	781	43	824
合計	22,041	2,514	122	2,635

※合計値が合わないのは、四捨五入による。

（出所）一般ガス事業部門別収支計算書、ガス事業年報